

村上市 市民協働のまちづくり

地域まちづくり組織

3 年間の活動分析レポート

<地域人材育成業務委託報告>

平成 28 年 3 月

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

【目次】

はじめに	1
I 組織体制及び運営	3
①常設している専門部会	3
②住民の協議会運営への参画	5
II 2カ年の事業内容及び事業費	6
①協議会が実施した事業の全体像	6
②集落・団体活動支援補助の状況	9
③協議会主催事業の状況	11
④施設整備・備品購入の状況	14
⑤積立金の状況	15

はじめに

村上市では、地域の元気づくりとして、市民と行政が一体となり、「市民協働のまちづくり」に取り組んでいる。この具体策の1つとして、平成23年度末、町内や集落が一定規模単位でまとまった「地域まちづくり組織（以下、「まちづくり協議会」と表記）」が、市内に17組織設立された。村上市は各まちづくり協議会に担当職員を配置し、地域住民と共に活動を行う人的支援と、地域まちづくり交付金による財政支援を行っている。こうした手厚い支援を受け、各まちづくり協議会では、地域の特色を活かした活動が展開されている。

各協議会の活動状況は、年度ごとに事業報告書が作成され、それがホームページ等で公開されている。しかし、17ある協議会について横断的に活動状況を整理・分析しているものはない。

本報告書は、市内にある17のまちづくり協議会について、各協議会が公開している平成24～26年度事業報告書の分析を実施し、横断的に活動状況を整理したものである。

【活動分析を進める上での事業区分の設定について】

各まちづくり協議会は、設立当初に作成した「まちづくり計画」に沿って年度ごとに事業計画を立案し、事業を実施している。事業の内容や事業費（地域まちづくり交付金）の使途は協議会ごとに特色がでているものの、事業区分が各協議会独自に設定されているため、そのままでは全体像の把握が困難である。

そこで、本報告書では、各協議会の事業内容を踏まえて以下のような事業区分を設定し、各協議会の事業内容及び事業費の使途の整理を行った。

種類	事業区分	内容
集落・団体支援	集落活動支援（補助金）	・協議会から町内会・集落への活動支援（補助・助成金）
	団体活動支援（補助金）	・協議会から各種団体への活動支援（補助・助成金）
協議会主催事業	環境整備	・地区内の環境や施設等の維持・保全に関する取り組み
	資源活用・文化継承	・地域資源調査や資源を活用した取り組み ・伝統文化などの継承に関する取り組み
	住民交流	・住民同士の交流、親睦を深める取り組み
	人材・ネットワーク育成	・まちづくりの担い手の育成 ・まちづくりに関わる人同士の交流
	福祉・健康増進	・福祉（高齢者・障がい者・子育て支援）に関する取り組み ・住民の健康増進（スポーツ系含む）に関する取り組み
	安全安心	・防犯、防災になどの取り組み
	産業振興・地域振興	・産業振興に関する取り組み ・地域振興（地区の活性化）に関する取り組み
	情報発信	・広報、情報発信に関する取り組み
	その他	・上記以外の取り組み

また、事業費の使途については、以下の区分も設定した。

	施設整備・備品購入	・施設整備や備品購入経費
	積立	・基金としての積立金
	運営費	・協議会運営に関わる各種経費

I. 組織体制及び運営

各まちづくり協議会の体制は、平成23年度の組織立ち上げに向けた検討の中で話し合われ、構築されたものである。町内会や集落組織などの既存組織の位置づけ・参画方法などを十分に加味し、各地域の実情を踏まえながら組織体制は各々で構築された。

①常設している専門部会

まちづくり協議会の体制は、総会や役員会など意思決定に関するものは、さほど大きな違いは見られない。その一方で、専門部会の設置については各協議会の特徴が表れていた。

Point-1

常設の専門部会を設置しているのは **11** 協議会

Point-2

最も多いテーマは **産業振興・地域振興**

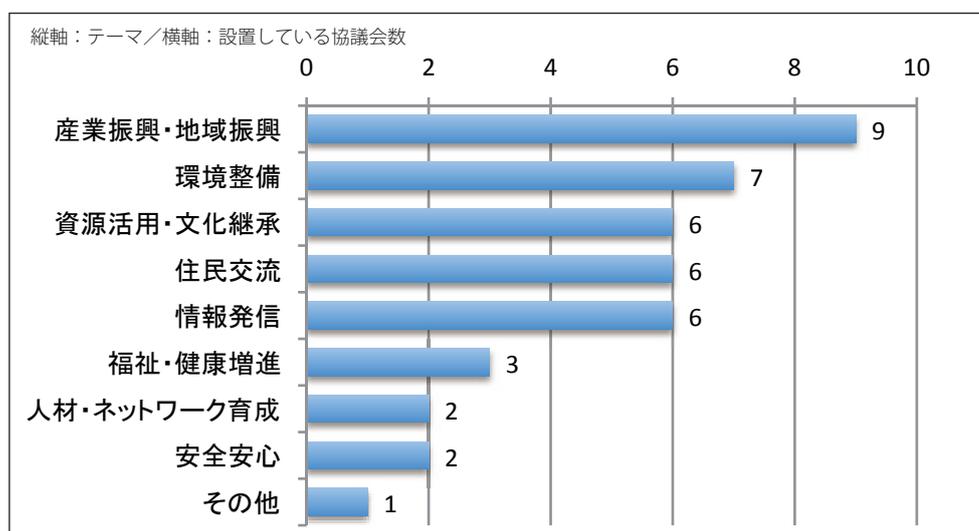


図1 常設専門部会のテーマ別設置状況

※H24・25の2カ年と変化無し

表1 各協議会における常設の専門部会の設置状況

テーマ 協議会	環境整備	資源活用 文化継承	住民交流	人材ネット ワーク育成	福 祉 健康増進	安全安心	産業振興 地域振興	情報発信	その他
山 北			コミュニティ	企 画		安全・安心	産業・交流		
館 腰		資源活用	交流活動				産業振興	広報環境	
三 面	環 境		交 流				地域振興		
高 根	環境安全		開発交流		健康福祉		地域振興		
猿 沢		歴史環境	交流事業		健康福祉		産業開発	まちづくり 推進	
塩野町		交流・伝承 共助・観光					産業振興		
村 上	環境整備	伝統文化				生活安心	地域活性		
岩 船		文化事業			スポーツ 事業			広報事業	
瀬 波									
山辺里	かんきょう		すこやか				まちおこし	ふれあい	
上海府	環境安全						地域活動		
神 納									
神納東									
平 林									
砂 山									
西神納									
荒 川				育 成				支援・情報	事 業

※複数のテーマに跨がる活動している部会については、H24～25年度の活動実績を吟味し、中心となった活動のテーマに振り分けた。

※荒川の事業部会は、テーマではなく事業実施という「機能」で部会を設置している。

②住民の協議会運営への参画

組織の運営や事業の実施にあたっては、各組織で数多くの会議が開催された。会議回数の増加は、「住民負担の増加」という見方もあるが、それ以上に「住民同士で地域のことを話し合う機会が大幅に増えた」という意味合いが非常に大きい。

そこで、事業報告書に記載されている会議回数等を整理・分析した結果、組織発足によってどれくらい「住民同士での話し合い」が増加したのかを整理した。以下にその結果を示す。

Point

※以下は、各組織の事業報告書（H24～26）に記載されたデータをもとに、記載が無かった組織も考慮し、算出した推計値である。

【H24～26の3カ年での平均値】

1 協議会が1年間で開催する会議の回数（平均） **29.9回**

※H24・25の平均値は32.9回（1年間で3.0回減少）

1 回あたりの出席者数（平均） **9.1人**

※H24・25の平均値は8.7人（1年間で0.4人増加）



市全体（17組織）で1年間に開催される会議の回数及び出席者数

のべ **508回・4,627人**

※H24・25の2カ年での平均値：会議回数 559回（1年間で51回減少）
出席者数 4,842人（ // 215人減少）



※1回の会議が2時間掛かるとした場合、

1年間で住民同士が地域のことを「話し合う」時間が

のべ **1,016時間**（約42日間）

※H24・25の2カ年での平均値は1,118時間（1年間で102時間減少）

Ⅱ. 3 力年の事業内容及び事業費

① 協議会が実施した事業の全体像

平成 24 ～ 26 年度の 3 力年で、各協議会が実施した事業内容を事業費ベースで整理すると、表 3 及び図 5 のようになる。

表 3 17 協議会全体での 3 力年の事業費内訳

(単位:円)

		H24	H25	H26	3 力年の合計	
集落・団体支援	集落活動支援 (補助金)	9,774,359 (前年比増減)	14,101,835 44.3%	16,502,093 17.0%	40,378,287	49,957,481 29.6%
	団体活動支援 (補助金)	2,885,399 (前年比増減)	3,159,074 9.5%	3,534,721 11.9%	9,579,194	
	小計	12,659,758 (前年比増減)	17,260,909 36.3%	20,036,814 16.1%		
協議会主催事業	環境整備	1,645,092 (前年比増減)	3,566,377 116.8%	2,817,362 ▲ 21.0%	8,028,831	68,433,659 40.5%
	資源活用・文化継承	3,088,307 (前年比増減)	7,347,810 137.9%	4,382,787 ▲ 40.4%	14,818,904	
	住民交流	2,678,693 (前年比増減)	4,864,032 81.6%	5,889,289 21.1%	13,432,014	
	人材・ネットワーク育成	772,022 (前年比増減)	2,188,523 183.5%	2,834,317 29.5%	5,794,862	
	福祉・健康増進	1,179,686 (前年比増減)	985,024 ▲ 16.5%	2,083,016 111.5%	4,247,726	
	安全安心	852,182 (前年比増減)	756,479 ▲ 11.2%	594,017 ▲ 21.5%	2,202,678	
	産業振興・地域振興	949,294 (前年比増減)	1,474,710 55.3%	2,211,445 50.0%	4,635,449	
	情報発信	2,638,055 (前年比増減)	5,496,663 108.4%	5,984,490 8.9%	14,119,208	
	その他	210,473 (前年比増減)	815,882 287.6%	127,632 ▲ 84.4%	1,153,987	
	小計	14,013,804 (前年比増減)	27,495,500 96.2%	26,924,355 ▲ 3.1%		
施設整備・備品購入		1,688,331 (前年比増減)	3,075,135 82.1%	2,501,491 ▲ 18.7%	7,264,957	4.3%
積立		7,750,000 (前年比増減)	3,218,464 ▲ 58.5%	4,970,625 54.4%	15,939,089	9.4%
運営費		8,273,414 (前年比増減)	9,353,059 13.0%	9,610,503 2.8%	27,236,976	16.1%
計		44,385,307 (前年比増減)	60,403,067 36.1%	64,043,788 6.0%	168,832,162	

Point

過去3カ年の事業費累計では、約**3割**が集落・団体支援補助
約**4割**が協議会主催事業費

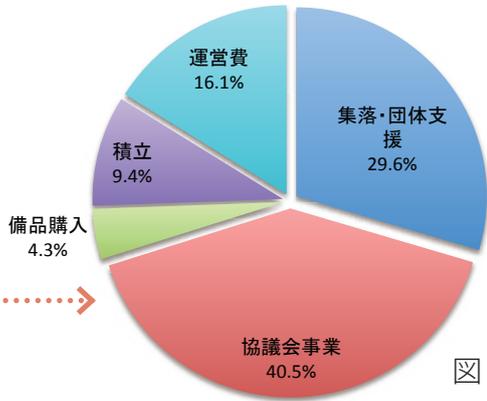


図5 3カ年の事業費累計の内訳 (17 協議会全体)

【各年度の事業費比率の推移】

平成24～26年度の3カ年の事業費内訳(比率)の推移は図6のとおり。

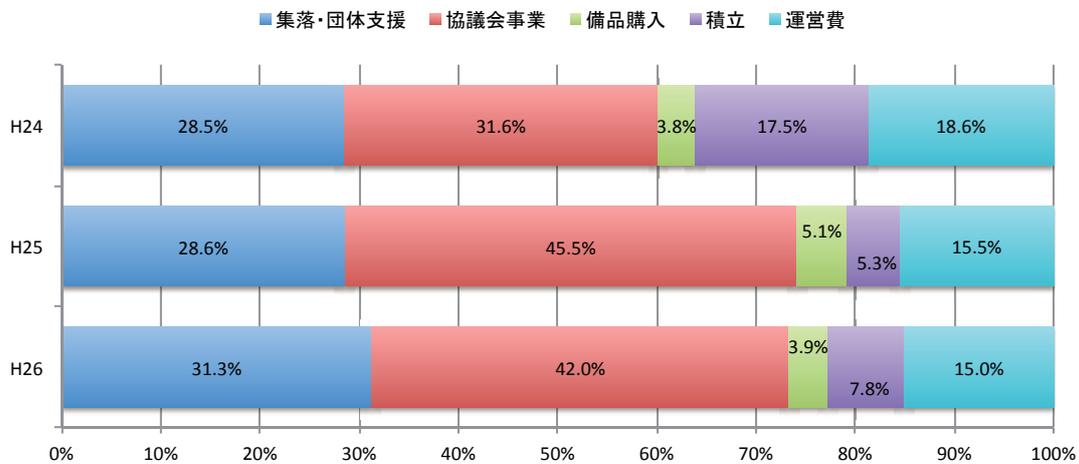


図6 事業費比率の推移 (17 協議会全体)

Point

集落・団体支援の割合は**増加傾向**

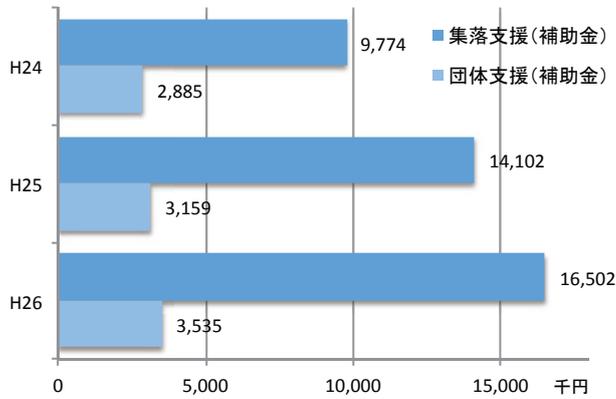
※ H26年度は事業費ベースで対前年比**16.1%増**

協議会主催事業の割合は**4割前半で推移**

※ H26年度は事業費ベースで対前年比**3.1%減**

a 集落・団体活動支援（補助金）の推移

集落・団体活動支援補助金額の3カ年の推移は図7のとおり。



Point

集落支援・団体支援共に

増加傾向

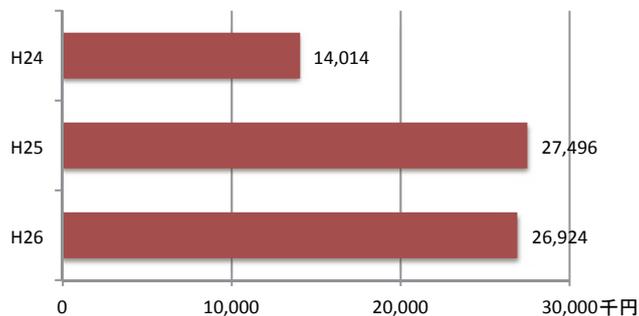
※ H26 年度はそれぞれ対前年比で

16~17%増

図7 集落・団体活動支援補助金の推移 (17 協議会全体)

b 協議会主催事業費の推移

協議会主催事業費の3カ年の推移は図8のとおり。



Point

平成 25 年度からは

ほぼ横ばい

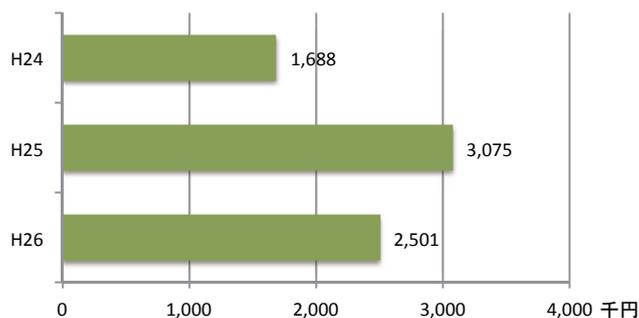
※ H26 年度事業費は対前年比

3.1%減

図8 協議会主催事業費の推移 (17 協議会全体)

c 施設整備・備品購入費の推移

施設整備・備品購入費の3カ年の推移は図9のとおり。



Point

平成 26 年度は

減少

※対前年比 **18.7%減**

図9 施設整備・備品購入費の推移 (17 協議会全体)

d 積立金の推移

各年度の積立金の3カ年の推移は図10のとおり。

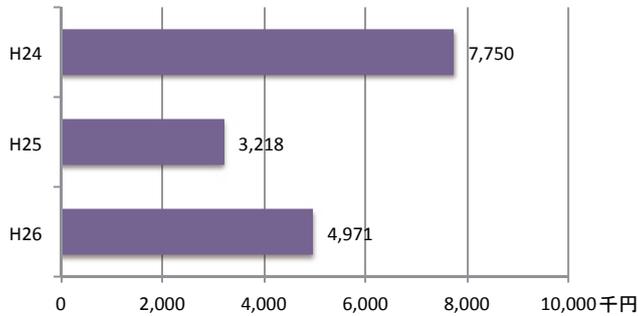


図10 積立金の推移 (17協議会全体)

Point

平成26年度は

再び増加

※対前年比 **54.4%増**

e 運営費の推移

各年度の積立金の3カ年の推移は図11のとおり。

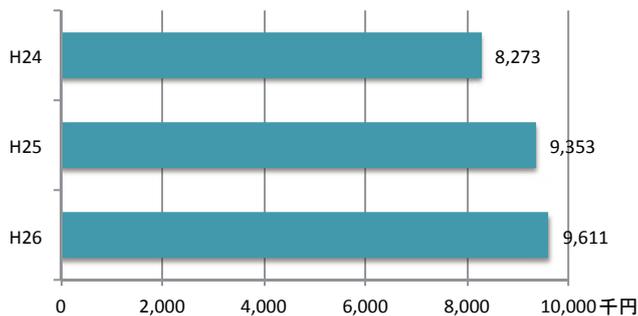


図11 運営費の推移 (17協議会全体)

Point

平成25年度からは

ほぼ横ばい

※H26年度事業費は対前年比

2.6%増

②集落・団体活動支援補助の状況

大半の協議会で、集落や市民団体への活動支援補助を実施している。その内訳は以下のとおり。

集落活動支援補助を実施	15 協議会
団体活動支援補助を実施	5 協議会
※両方を実施	3 協議会

※H24・25の2カ年と変化無し

表4 各協議会の集落支援・団体支援の状況

協議会名	町内・集落数	集落支援事業数			団体支援事業数			
		H24	H25	H26	H24	H25	H26	備考
山北	48	67	71	63	4	6	6	公募・審査形式
館腰	11	-	11	7	-	-	-	
三面	10	17	16	17	-	-	-	
高根	8	16	16	12	-	-	-	
猿沢	9	6	10	14	-	-	-	
塩野町	8	14	16	12	-	-	-	
村上	41	14	19	34	-	-	-	
岩船	16	39	38	54	9	7	6	手挙げ・審査方式
瀬波	26	70	72	79	7	9	10	手挙げ・審査方式
山辺里	20	※	※	※	-	-	-	
上海府	8	-	-	-	1	1	1	地区青少年健全育成会へ助成
神納	10	9	9	9	-	-	-	
神納東	6	6	6	14	-	-	-	
平林	7	9	9	16	-	-	-	
砂山	6	8	9	13	-	-	-	
西神納	11	26	24	27	-	-	-	
荒川	30	-	-	-	4	4	4	公募・審査形式
計		301	326	398	25	27	27	

※ 実施はしているものの、事業報告書に内訳は未掲載

表5 17協議会全体での3カ年の集落・団体支援の内訳 (上段：事業費/下段：支援事業数)

		H24	H25	H26	3カ年の合計
集落・団体支援	集落活動支援（補助金）	9,774,359 円 301 事業	14,101,835 円 326 事業	16,502,093 円 398 事業	40,378,287 円 1,025 事業
	団体活動支援（補助金）	2,885,399 円 25 事業	3,159,074 円 27 事業	3,534,721 円 27 事業	9,579,194 円 79 事業
計		12,659,758 円 326 事業	17,260,909 円 353 事業	20,036,814 円 425 事業	49,957,481 円 1,104 事業

Point

集落活動支援補助件数は年々 **増加** ※平成26年度は事業数が **72件 (22.1%) 増**

団体活動支援補助は **横ばい**

③協議会主催事業の状況

協議会が主催する事業の事業費内訳は表6及び図12のとおり。

表6 協議会主催事業の内訳（17協議会全体）

（単位：円）

		H24	H25	H26	3カ年の合計
協議会主催事業	環境整備	1,645,092	3,566,377	2,817,362	8,028,831
		(前年比増減)	116.8%	▲21.0%	
	資源活用・文化継承	3,088,307	7,347,810	4,382,787	14,818,904
		(前年比増減)	137.9%	▲40.4%	
	住民交流	2,678,693	4,864,032	5,889,289	13,432,014
		(前年比増減)	81.6%	21.1%	
	人材・ネットワーク育成	772,022	2,188,523	2,834,317	5,794,862
		(前年比増減)	183.5%	29.5%	
	福祉・健康増進	1,179,686	985,024	2,083,016	4,247,726
		(前年比増減)	▲16.5%	111.5%	
安全安心	852,182	756,479	594,017	2,202,678	
	(前年比増減)	▲11.2%	▲21.5%		
産業振興・地域振興	949,294	1,474,710	2,211,445	4,635,449	
	(前年比増減)	55.3%	50.0%		
情報発信	2,638,055	5,496,663	5,984,490	14,119,208	
	(前年比増減)	108.4%	8.9%		
その他	210,473	815,882	127,632	1,153,987	
	(前年比増減)	287.6%	▲84.4%		
計		14,013,804	27,367,992	26,924,355	68,433,659
		(前年比増減)	96.2%	▲3.1%	

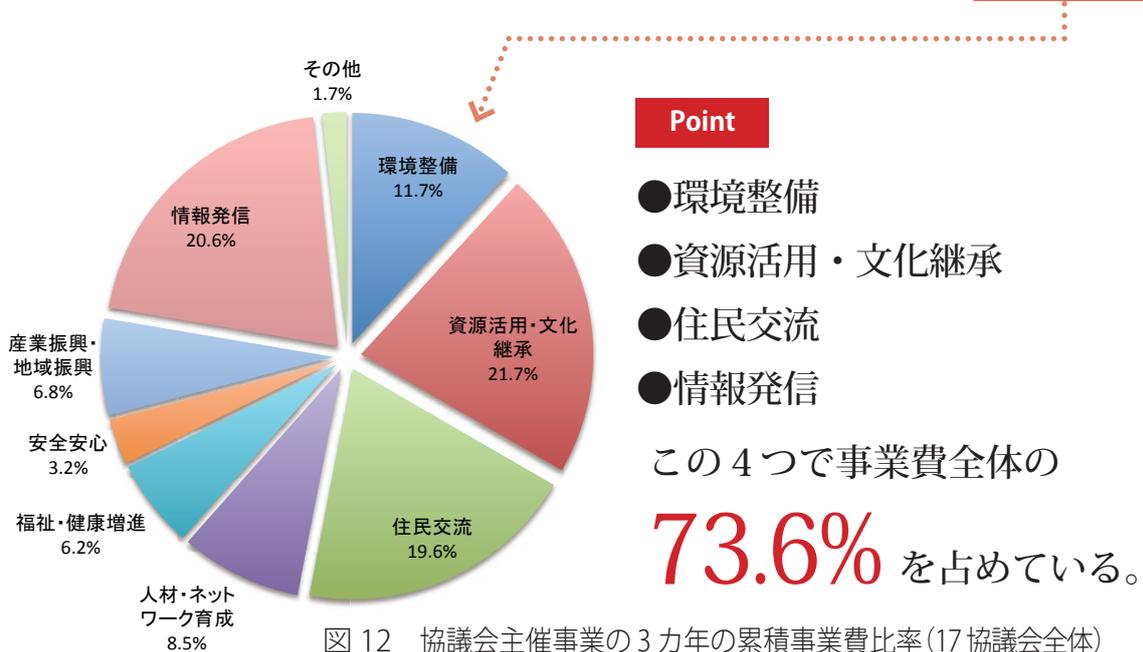


図12 協議会主催事業の3カ年の累積事業費比率(17協議会全体)

a テーマ別の主な取り組み内容

各テーマで取り組まれている主な内容は表7のとおり。

表7 テーマ別の主な取り組み内容（17協議会全体）

テーマ	3カ年の累積 事業費比率	主な取り組み例
資源活用 文化継承	21.7%	学習会の開催／郷土芸能支援／地域資源調査／郷土料理教室／集落ウォーキングイベント／案内看板の設置／お祭り体験講座／歴史資源の石碑整備／地域資源の冊子作成／施設有効活用のためのワークショップ開催 など
情報発信	20.6%	広報紙の発行／写真コンテスト／地域行事カレンダーの作成／PRグッズ作成／町内会活動展示／イメージソングの作成／スイーツコンテストなど
住民交流	19.6%	文化祭／運動会／盆踊り大会／収穫祭／料理教室／敬老会／スポーツ大会／住民交流イベント／情報・意見交換会 など
環境整備	11.7%	花いっぱい運動／看板設置／清掃・除草活動／一輪挿し運動／落ち葉等の堆肥化木枠設置 など
人材・ネット ワーク育成	8.5%	地域づくり楽習会／ネットワーク交流会／先進地視察研修／講演会／パソコン教室
産業振興 地域振興	6.8%	外部応援団へのPR活動助成／軽トラ市／物産PR・販売／鳥獣被害対策／体験プログラム開発／ポスター作成／フォトコンテスト など
福祉・ 健康増進	6.2%	地域の茶の間立ち上げ支援／あいさつ運動／スポーツ大会／健康料理教室／親子交流教室 など
安全安心	3.2%	ボランティア活動に関するアンケート／防犯ブザー配布／子どもふれあい隊活動支援／危険箇所マップづくり／津波避難路整備 など

Point

行事・イベント型の取り組みが多く、
課題解決型の事業はまだ少ない。

b テーマ別事業費の推移

テーマ別事業費の推移は図 13、14 のとおり。

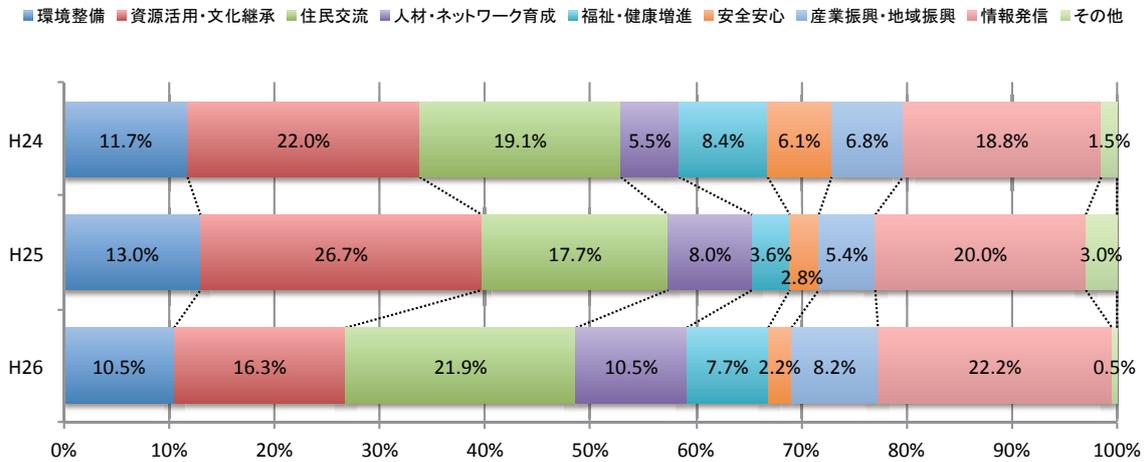


図 13 協議会主催事業の事業費比率の推移 (17 協議会全体)

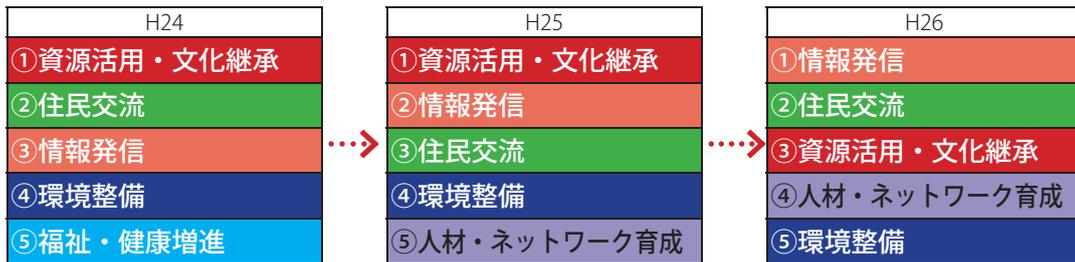


図 14 事業費比率が高い上位 5 つのテーマ (17 協議会全体)

Point

情報発信・住民交流の比率が**上昇**
 資源活用・文化継承
 環境整備の比率が**低下**

④施設整備・備品購入の状況

12 協議会で、事務用備品及び事業用備品の購入経費として計上されている。内訳を以下に示す。

表9 施設整備・備品購入経費の内訳

(単位：円)

	H24	H25	H26	3カ年の合計	備考
山北	0	329,194	0	329,194	事務用備品：パソコン、プリンター
館腰	49,140	188,790	0	237,930	事務用備品：デジカメ 事業用備品：ポータブルワイヤレスアンプ
三面	13,800	31,500	0	45,300	デジカメ、協議会横断幕
高根	18,800	0	0	18,800	事務用備品
塩野町	0	36,750	0	36,750	事業用備品：業務用炊飯器
村上	813,411	726,000	1,149,999	2,689,410	拠点施設設備備品：エアコン、OA 機器、書籍 他 事業用備品：ポータブルワイヤレスアンプ、テント、 グラウンドゴルフセット、机椅子、発電機 他
岩船	343,000	565,304	424,335	1,332,639	事務用備品：プリンター、プロジェクター 他 事業用備品：ポータブルワイヤレスアンプ、テント、 グラウンドゴルフセット、机椅子、発電機 他
瀬波	246,080	427,793	472,522	1,146,395	事業用備品
山辺里	185,680	498,400	227,027	911,107	事業用備品
上海府	18,420	71,904	30,418	120,742	事務用品
神納	0	199,500	0	199,500	事業用備品：ポータブル拡声器
砂山	0	197,190	0	197,190	事業用備品：ポータブル拡声器
計	1,688,331	3,272,325	2,304,301	7,264,957	

※ 備考欄の内訳は各協議会の事業報告書より抜粋

Point

事業用備品として **イベント用備品**

を購入している協議会が多い

平成 26 年度より「**拠点施設の整備・備品購入**」が見られるようになった。

⑤積立金の状況

3カ年で事業実施に向けた積立を行ったのは10協議会であった。以下にその内訳を示す。

表10 積立の内訳

(単位:円)

	H24	H25	H26	3カ年の合計	積立の用途
山北	1,500,000	1,000,300	500,300	3,000,600	まちづくり協議会拠点施設整備事業積立金
館腰	400,000	▲ 400,000	0	0	大たてこし展積立金 (H25 に事業実施)
	250,000	250,000	250,000	750,000	(仮) 館腰史・発行基金
三面	200,000	100,041	100,061	400,102	三面太鼓支援事業積立金
高根	300,000	300,061	300,121	900,182	お宝冊子編集基金
猿沢	150,000	50,031	50,041	250,072	集落PR資料づくり基金
	150,000	50,031	50,041	250,072	集落マップづくり基金
塩野町	100,000	100,000	100,000	300,000	お宝マップ作成積立金
村上	1,000,000	1,000,142	500,302	2,500,444	まちづくり拠点施設整備積立金
	1,900,000	568,268	▲ 1,395,707	1,072,561	地域づくり支援事業積立金 (H26 に事業実施)
山辺里	300,000	▲ 300,000	300,000	300,000	伝統行事等調査事業積立基金 (H25 に事業実施)
上海府 ^{※1}	600,000	135	163	600,298	まちづくり基金 (備品購入・周年事業への備え)
	88,387	24	▲ 4,977	83,434	スポーツ・文化振興基金
荒川 ^{※2}	1,000,000	500,000	2,820,000	4,320,000	活動拠点施設整備積立金
	500,000	0	0	500,000	みらいファンド助成事業等積立金
計	7,750,000	3,218,464	3,218,464	15,227,765	

※1 平成24年度以前から積立している

※2 活動報告書に基金台帳が未掲載のため推計値

Point

64.5% が
拠点施設整備
の積立

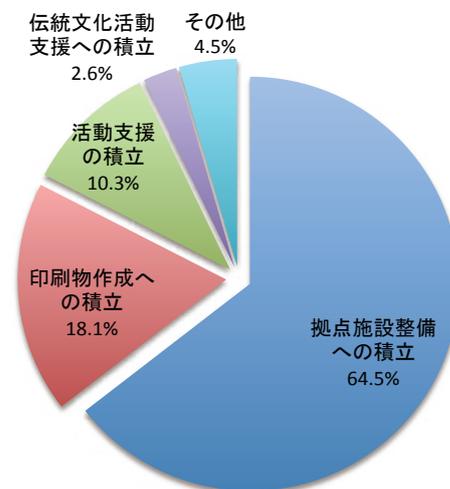


図9 3カ年の積立金の内訳 (17協議会全体)